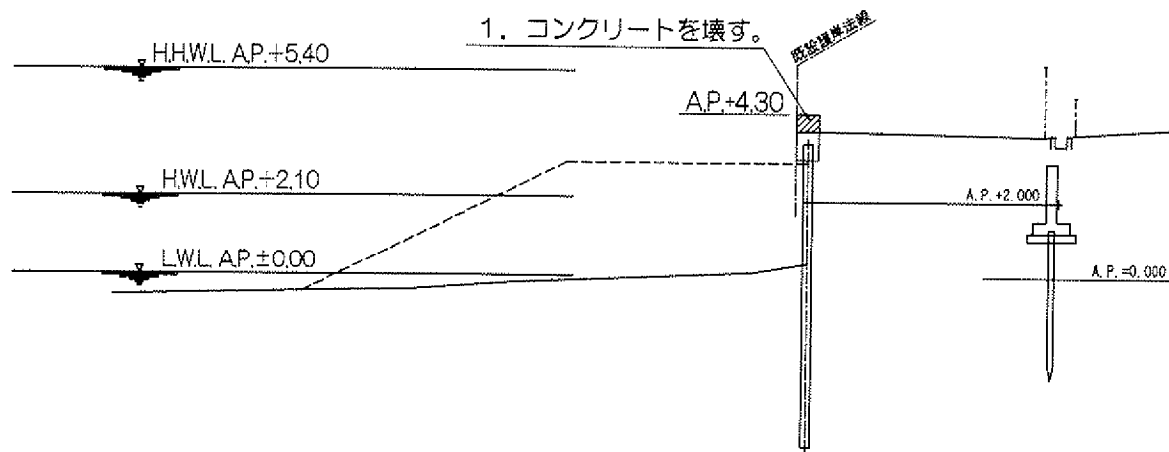
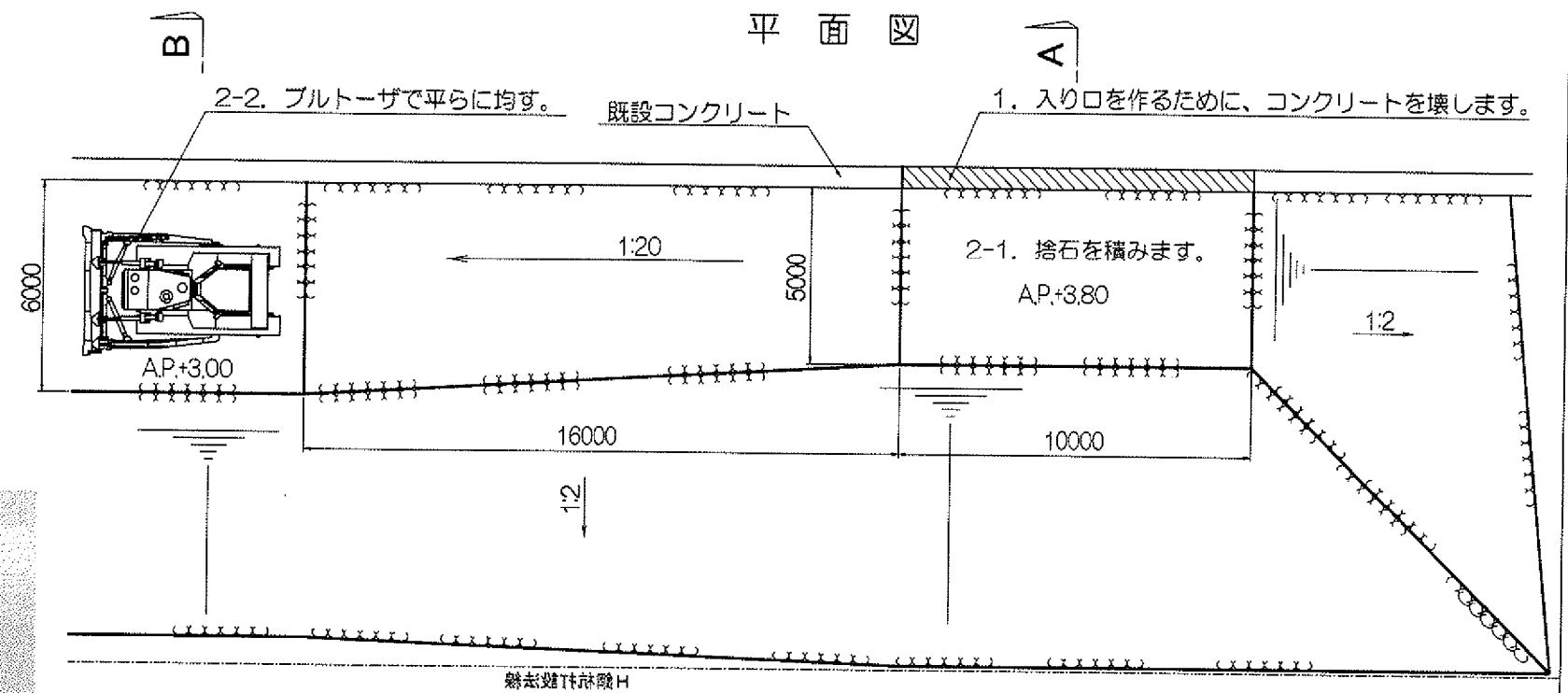


1. 乗り入れ口工

コンクリートの上側だけを壊して、工事車両が海側にいけるよう入り口を作ります。

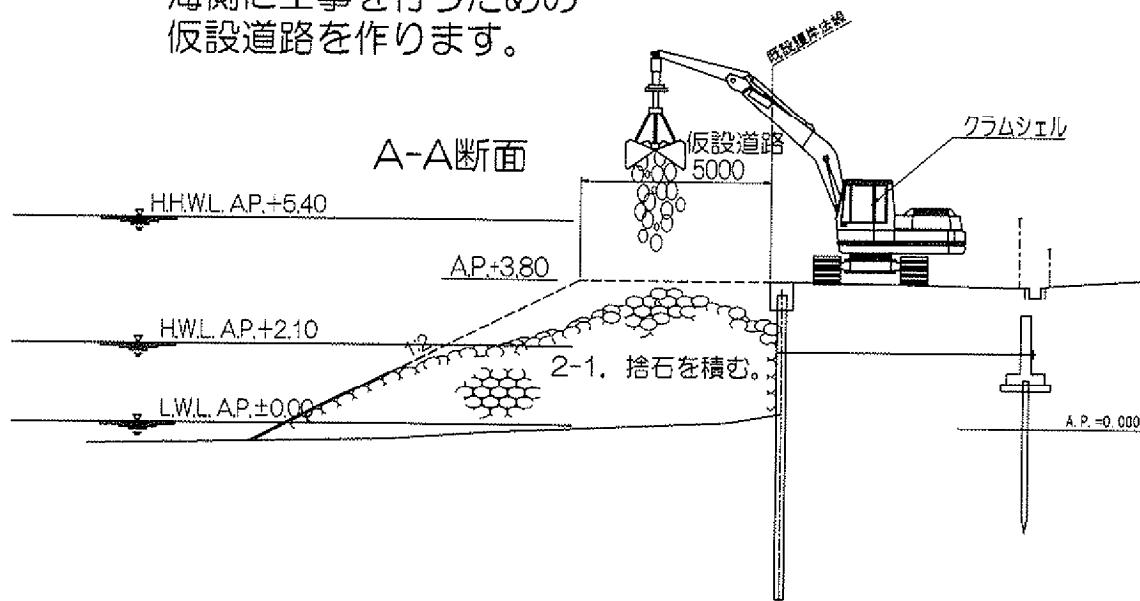


Step 1

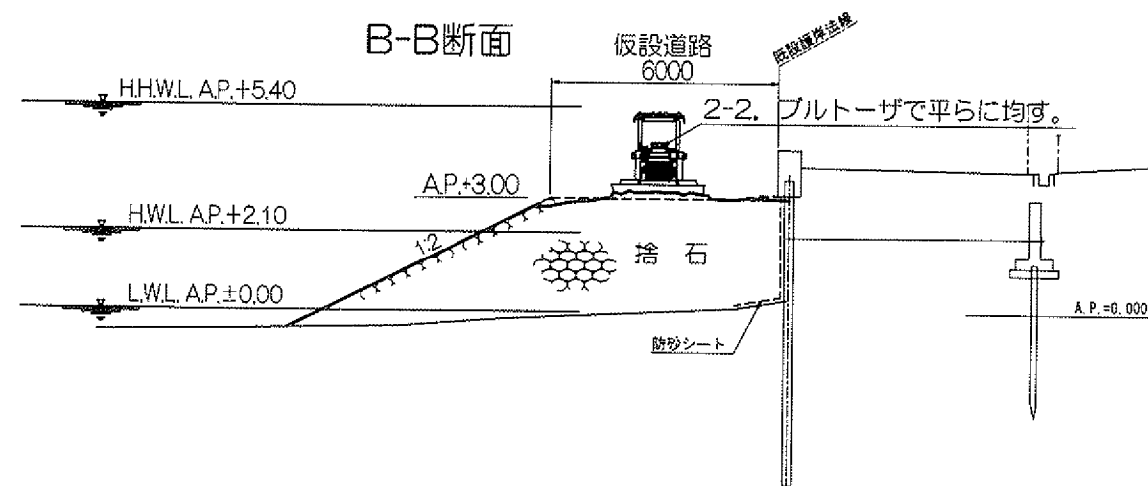


2. 仮設道路撒き出し

2-1. 既設の護岸の安定を計りながら、海側に工事を行うための仮設道路を作ります。



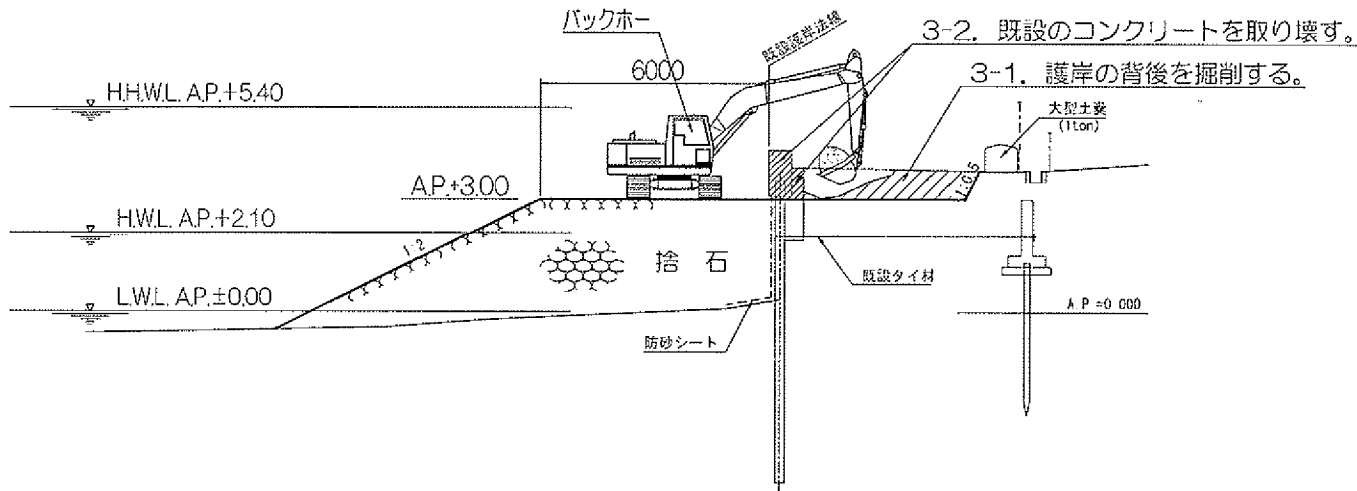
2-2. 捨石の上を工事車両が通れるように平らに整形します。



Step 2 (その1)

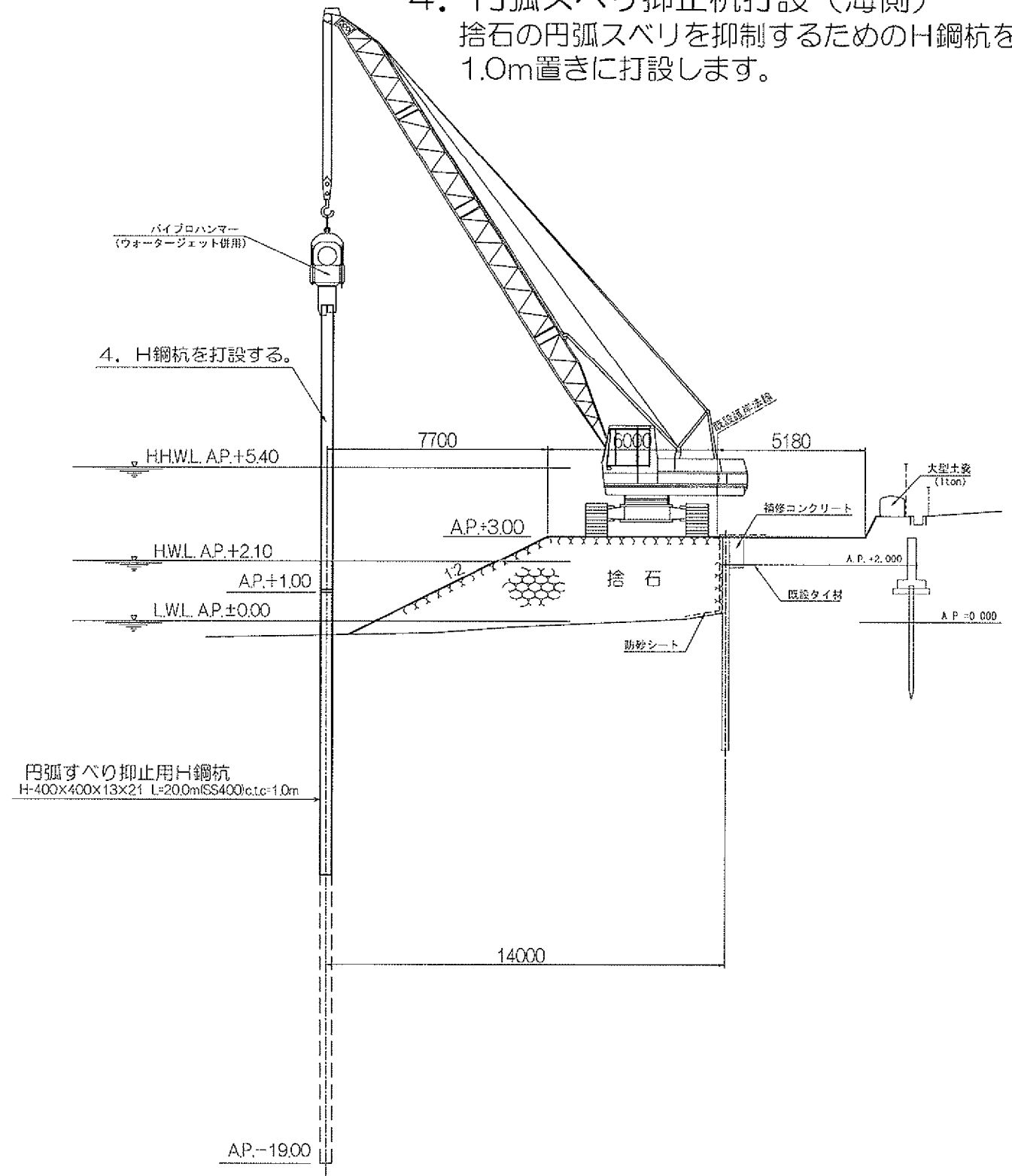
3. 既設上部工撤去・護岸背後掘削

鋼杭を打設する重機のためにより広い施工スペースが必要になることから、既設のコンクリートを取り壊し、また同時に、護岸背後を掘削して、捨石の高さと護岸背後の高さをA.P.+3.00mでそろえます。



4. 円弧スベリ抑止杭打設 (海側)

捨石の円弧スベリを抑制するためのH鋼杭を1.0m置きに打設します。



Step 2 (その2)

5. 補修コンクリート撤去・既設タイ材切断

既設の護岸の背後に鋼矢板とH鋼の杭を打設するの
に、地盤の下に埋まっている補修コンクリートと既設のタイロッド
が邪魔になるため、一度掘り起こして撤去します。

6. 埋め戻し

捨石の高さと護岸背後の高さをA.P.+3.00mでそろえるために、
再度捨石と土砂を埋め戻します。

